



旬刊 労働新聞 毎月一回一日五日発行 定価一冊五円 一年五十冊 廣告一冊一円四角 郵政特准第一種郵便物 郵務所指定一四四番 編集長 木村安次 印刷所 木村安次

労組の理を誤るな

真理なければ争議となる

近くは國鐵ゼネスト解決條項する事を考へず日本鐵道項を見ても明かである、國省の立場のみ考へたからで鐵海員兩立ゼネスト問題は、自己の失業する立場なりたる事明かである、月の始は政府が發言した七のみ考へ日本鐵道省の存亡事二十四日の整理案を短所に於ける合理化を考ざる交を以てし又資本側の合理的考となり國鐵に火の手を揚つたからである、元以てし又資本側の合理的考たものでは政府國鐵面より國鐵員は鐵道省を母體へを以て事業を起すべき者に真理無く只々政府は政である限り赤字に合理するあるまいか府の現下國情を基準としての意見あり又政府は國民の日本の鐵道は赤字大なるが故に國鐵員の大整理案を出し國鐵員は整理されては已々自己の立場に困ると云ふ政府國鐵員何れも立場のみ考へたる真理無き申し分を對立したからである、若し政府は鐵道の赤字負擔の食糧營團では米が無くて馬け先頃白河驛の關狩りて一日の白米益二百七十俵といふ國鐵員の大整理した決鈴薯や甘薯の配給を爲し一日の白米益二百七十俵といふ國鐵員の失業を大成なら般國民を困らして居るが裏事何れの驛に於ても網を張しめ此失業者が引揚、復員道通りの關や白米の買ひればかゝる白米は百を下らぬ失業者と合流するならば出頻りに二百俵三百俵とに白米が散在しあるかは如何我が國は失業者の大いなる日、關狩りに二百俵三百俵とに白米が散在しあるかと思ふ、然となり國民生活の前途を破云ふ大量の白米開を網にかして知る可きだと思ふ、然

食糧營團は米無し

裏通りの關やは 白米の往復頻繁

食糧營團では米が無くて馬け先頃白河驛の關狩りて一日の白米益二百七十俵といふ國鐵員の大整理した決鈴薯や甘薯の配給を爲し一日の白米益二百七十俵といふ國鐵員の失業を大成なら般國民を困らして居るが裏事何れの驛に於ても網を張しめ此失業者が引揚、復員道通りの關や白米の買ひればかゝる白米は百を下らぬ失業者と合流するならば出頻りに二百俵三百俵とに白米が散在しあるかは如何我が國は失業者の大いなる日、關狩りに二百俵三百俵とに白米が散在しあるかと思ふ、然となり國民生活の前途を破云ふ大量の白米開を網にかして知る可きだと思ふ、然

に表通りの食糧營團の如ひのか或ひは農家がづるいは一粒の米も無く人間と馬のか全く判断に苦しむので同一なる食糧を配給してあるまいか、最も今日の農居るとは如何なる缺陷なる家は同盟愛の眞心は皆無でかは全く不思議でならぬ、自己愛が本腦である、然ら農家には白米の山を積み居れば政府は斯の如き冷淡なるの供出六%たとか又強農家に對し眞の強權的發動權發動だとか何をして居るを促してはどうか、供出役か政府や農會の爲す事は丸員と農家と裏道での話を止で農家は通せず後人の騒ぎめて今年から表道供出の方にどまると申しても過言で法を望む

農林省の白米配給

馬鈴薯甘薯は特配 盆正月一度に來た

今年十一月より六大都市及び地方府縣にも白米配給も類特配すると全く聞き耳なる明い約束を國民に報じたが農林省は農家の作つた青田やいも畑を遠望的に眺み満悦氣分で取らぬ狸前々より國は流行的前驛の皮豫算で相當關に強いで氣の早へ町村では制度改家より満足の供出無く役人正實施發表前町村長の公選總出で強權發動しても其効を行ひたる町村もあるが漸無く途ひに龍頭蛇尾に終る々十月一日改正後は全市町が如き事無き様しつかり頼村長並に地方議員の公選を行ふ事になるはつだが早吞

制度改正期日

十月一日と確定

今年十一月より六大都市及び地方府縣にも白米配給も類特配すると全く聞き耳なる明い約束を國民に報じたが農林省は農家の作つた青田やいも畑を遠望的に眺み満悦氣分で取らぬ狸前々より國は流行的前驛の皮豫算で相當關に強いで氣の早へ町村では制度改家より満足の供出無く役人正實施發表前町村長の公選總出で強權發動しても其効を行ひたる町村もあるが漸無く途ひに龍頭蛇尾に終る々十月一日改正後は全市町が如き事無き様しつかり頼村長並に地方議員の公選を行ふ事になるはつだが早吞

一般交通車

ナンバー掛換

一般交通車とは自動車、自轉車、荷車、リヤカー、馬車の如き乗車運搬車共も現在使用して居る交通車は一齊に番札を取り換ひる事になつたが此期日は多分十月十二三日頃と豫定すべきである

縣議の増員

人口増加に伴ひ縣議の増員我が本縣は縣議定員四十四名のところ明春行はれる縣議選舉より十五名増員し五十九名となる筈だ、選舉の方法も市町村單位で其場で市町村毎に開票する

再燃状態に入る

小名濱臨鏡、江名濱漁組、江名製作所外に鐵工場の争議をひと束にして十七日平動勢に於て勞資相俣つて大体調定案到達した姿となり一と安心と思ひの外、小名濱臨鏡從組は更に從組大會で決議し堂々ストへ踏入り恐れあり又一方江名濱製作所外に鐵工場は魚組鐵工所から離れ各工場毎に自主的勞組をつくり白紙に返して交渉のやり直しとなつた

東海炭礦爭議の真相 ダラ幹の正体バクロ

去る八月十四日夜捲き起さ 區炭礦勞組聯盟の幹部富永
れたる乱闘事件が一つの勞 有賀等數名並に常磐地方坑
組の運動と結び付られそれ 夫組合主事高原淺市等が前
からそれへとデマが乱れ飛 記佐藤稻葉をもらい下げを
び問題は擴大に擴大され無 午後九時頃大昭礦業の
責任なるジャナリズムに トラックに勞組幹部其の他
依勞組側の放送のみ報導せ を含め十數名乗車して押か
られその真相を確むるの勞 け藤原某(佐藤の兄弟分大
をいとい公正で有るべき 昭時代加藤と反目して居た
ヤナリストが之等のデマ 男)なるものを陣頭に立つ
に躍らされた事は如實に てたま(同社クラブ)に於
その反動性をバクロしたに て常會を開催中の處へ威嚇
過ぎない、夙に我社に於て 的態度を以てて乗込ませた
公なる立場に本問題の調査 ため前記佐藤一派のデマ
に當つて居たがようやく此 に躍らせられて殴り込みを
の程各方面よりの情報を得 かけられたものと信じ之が
てその真相をつかみ得たの 防衛に當るつもりで乱闘と
で之を公表して天下の輿論 なたつたもので有る、夜分何
に訴へんとするものである 故トラック乗り十數名押し
一、その原因 かけ道路通行中の東海炭業

しかけて来た連中を乗せ大 昭炭礦へ僅か五キロの道を
もどらず上遠野を経て湯本 業員を拘束して二日乃至八
に廻つて植田に飛したこう 日に亘り時には爭議團側の
云ふ状況だから誰しも當時 人間を取調べに立會させる
暴力を前提とする威嚇的行 等入権蹂躪をあへてなされ
意乃至なぐり込みと誤認錯 する要求と結末

二、勞組幹部のデマと植 而して爭議團に於て七項目
田署の人権蹂躪 一の要求書を會社に提示し
斯る情勢下に於て起きた單 項より四項までは彼等の要
なる乱闘事件を故意にデマ 求に依り東海勞組を再建し
を飛ばし恰も會社に責任有る 新なる構想のもと構成され
かの如く放送し各勞組並に たる經營協議會に於て審議
各團體に呼かけ之等を躍ら した回答する事と條件を付
せ植田町島由なる料亭に對 した其の結果坑夫組合本部常
策本部をおきお祭騒ぎをな 任書記二名立會の上協議會
し之がため石炭生産の底下 開催し第一項保母事務の責
をきたし眞面目なる勞組員 任追究は見當違にて責任追
の諸君に迷惑を及ぼしたる事 究は出来ない、第二項は今
甚大で有る、然も此の對策 回の事件は誤解と錯覚に依
本部なるものは最も肝甚な り發生したるも過失にして
東海炭礦支部に何等の連絡 過失者たる加藤勞務係以下
も相談もなく之と何等直接 の解雇の要は認めず、故に
の關係なき勞組の一部幹部 全面的解雇せずと決定、第
に依つて構成せられ高原は 三項佐藤以下解雇は舊經營
協議會決定通り解雇と決定 請求の行為と何等其の選
第四項は三項の決定通り八 ぶ全る發展ろう組建設のため
月十四日付徴戒解雇なれば 計りかゝるダラ幹の無責任
敢而休業と認せず には國社の流れを汲み暴
右の次第で全面的否決定五 粉砕して邁進せん事を切望
項より七項までの要求は被 する次第である

三、對策本部の會社に對 川良一派の傘下に於て戰
する要求と結末 争中活躍せるもの有り或は
而して爭議團に於て七項目 又は勞組聯合體隣結成に
一の要求書を會社に提示し 資本家の事業組合を通し大

四、ダラ幹正体バクロ 質的運動方向たるろう働者
の生活安定向上のため經濟
的乃至政治的運動の展開は
勿論の事産業再建國家復興
のためろう働者の持つ偉大
なる使命の達成に向つて闘
争すべきで有り、此の事が
ろう組健全なる發展のため
欠要件と思惟す、従つて健
全る發展ろう組建設のため
先ずろう組自体の民主化を
計りかゝるダラ幹の無責任
には國社の流れを汲み暴
粉砕して邁進せん事を切望
する次第である

◎投稿歓迎す
勤勞タイムス社

八月の供出九月に持越す

供出期限の 薯は九・七パーセント
十五日成績

八月十五日完遂を期した薯は、近頃平市出頭に各町類と馬鈴薯の供出は遺憾な村にも非常に火事が多い、がら目的達成に至らず同日終戦となつて御互気がゆる現在の成績は大麥割當廿七んだのか火の元注意すべき万三千五百七十七俵に對した、而て此の火事で思ひ出供出十五萬千八百六俵でしたが過後を見れば平市に五十五パーセント、小麥が於ける製板所は皆工火事が割當十一萬五千三百八十八俵對つた、才穂小路色川製板し供出六萬一千二百八十俵場三回、日進堂製板場二回で五十三パーセント、馬鈴薯は佐藤製板場一回、紺屋町薯は割當五百五十萬八千貫織田製板場一回、七丁目丸に對し五百三十五萬九千七百七上製板場一回、六丁目齋藤百三十九貫で九十七パーセント製板場二回、新川町丸上製板場一回、馬鈴薯が板場一回、大工町中川製板場一回、代餐ひとなつたため百向ひ緑川製板場一回、近頃は立町裏神中組製板場一回、三六を出頭に田村の二三五部の如く平市の製板場は全平の二三三安達の一・二八若部の火元を見ても各工場は松の二三信夫の一・二二相一増火の元注意すべきである馬の一〇六等があり右は完遂ひを見る事と思ふ、大麥小麥の代替を馬鈴薯で完遂を急いで居るから大小麥の完遂も九月中と信じられる

火の用心

七月廿日午後十一時頃内郷町學校に出火物置一棟全焼

小林清

日本産業社
東洋産業株式会社
勤勞タイムス社
福島縣自給製協助成會
化学燃料加工工場
特許式製塩工場
福島縣平市田町
電話六六一番

電話新設御知らせ

拜啓初秋之砌り各位益々御健康の段奉賀候陳者此度私共御蔭様を以て先頃工場建設完備一般被服の更生保存上に御用命を賜り誠に有難く謹んで御禮申上候 扱て今回左記の新番號にて再度皆様方の御愛顧に預り度何卒舊倍の御引立を賜り度伏して御願申上候 敬具

◎新設電話 六〇六 番何卒御利用下さい

平市大町

永山洗濯舖

舖主 永山眞彦

今日の事務用品と文具

トンボ鉛筆
帳簿 墨汁

尾張屋文房具

平市五丁目 釜屋前

リツクサツク 附屬品上等揃つています

帆布 地 具
帆カバン
守山天幕屋
平市五丁目平醫院前

平市七丁目（發電所入口角）

皆様の食堂

おでん
小料理
水 水
ふくべ食堂
齋藤角治

電話新設の御知らせ

平市田町

産婆 萩野マサ

電話七八六番

永々皆々様の御厚志に預りまして有難く御禮申上げます私宅も電話の私設無き爲め重産や急産の場合水々御不自由かかりますが此度右の如く七八六番の電話私設致しましたから何卒御利用御願ひします

佛具品 常磐線平市本町四丁目

佛位碑
佛金物類
造花調製
山光堂商店
電話五五〇番

良品廉賣に優る商略なし

釜屋商店
會計 諸橋元三郎
平市五丁目 電話九番九九番

附屬品揃つて大勉強

敷島テント店
平市六丁目

リツクサツク
暗幕
帆布

品川黒田炭礦は 労組争議を變じ 協力會となる

品川黒田炭礦労組は賃金値組は會社經營の達成を思ひ上問題を擧げ争議の準備中なり其の合理方法を以て進然かも會社側より先手を打ち御互ひ生きて此の難かんつて懇話協力會を設け労資を切り貫くと云ふ真心で此懇話的協話に依り労資相補助る資こそ眞の新日本建設合理的勞資の解決に進みよきはしきろう組であり居るが是こそ會社側は勞組又會社である事を明かにし生活前途を思ひやりうた

本縣四市の番付に乗れ

平市も他の市と取組 おくれを取らな

福島市は十七日の市會に於て、然るに平市の如きはて失業者の救済を兼ね都市福島市と異なり戦災市として計画の第一期事業として然るに市内の破壊區内の如きはも工費四百廿五萬圓を要し當然市の事業として振興す近く着工し復員者や引揚者べきである、市街道路などの如き失業者を救済するとは勿論最大急工事業として同時に縣下の第一都市計画改正すべきである、個人建設に進みべく市議と市民の如きは市が幹線として工と結び合ひ自家の事業の如事を進めべきである、一方極力失業者の爲め市の爲め都市計画の意味に於て市營め兩方相俟て進み居るとは住宅を早々建築すべきである我が市の母體を思ふ念と又然るに市は我が市の振興同盟の愛心深きに感謝の外を他事の如き冷淡な考へを

以て居るものか戦災區の姿を見るに一月一戸位の建築があるのみ、道路の改正の如きは丁度墓標のようにあちらこちらに標ぐいを立て終戦後一ヶ月の今日何等道路の姿も變らず全く平市の放任的行動では當折福島市の如く敏活なる市は取組に上らず開けば今春の市會席に於て一議員は同市大町に起りたる火災の當時自動車ポンプの放水に故障ありたるを幸ひに此責任は警防團長に有りとの動議を提出し遂に之を問題として町民大會とか又は警察署長にも責任あるが如く針小棒大なる騒ぎをしたと聞くが自動車ポンプは機械である限り一寸の故障に依て大なる運用出来ざる事は人間の爲せる事と異なり勿論人間に責任あるべき管なく然かし是れしき問題を取上げ市民大會云々とは發言者一議員は勿論一般市民も共に物交の種となるのであるまいか平市會は斯の如きこつけない問題に市民想立して騒ぐより戦災の復興都市計画、復員引揚の如き失業者の對策等少くとも福島議と習つて進んだらどうか

今春濱通り三郡野球 大會に優勝した 平俱樂部

濱三郡の代表チーム平俱樂部は郡山に於て開催したる縣下野球大會に出動し又も全縣野球大會へ縣下代表となり出動する事に成つて居るが幸ひに此一戦に優勝せしむるが目下猛烈なる練習を續け居るが果して日本代表の榮冠は平俱樂部にありと市民は白車をかけてゐる

大塚鳳三郎 靴と運動具

平市正月町六一
電話七七一番

日本簡易火災 保險株式會社

平支部
電話七五五番
平支部長 渡邊昇
事務 常松榮次
大澤又吉
遠藤和三郎
赤羽輝之進

福島産業有限會社

赤井村役場
電話(下小川)五番

常磐木製工業所

平市正月町一九
電話一八三番

平工場

福島縣平市正月町六六
電話(平)七四九番

猪狩庄平

平市佃町
電話七四四番

織田齒科醫院

平市南町
電話四一六番

松村醫院

内科、胃腸病科
性病科、花柳病科
平市白銀町 電話一〇七番